

支援場面：C）清潔ケア（入浴・清拭）

	看護職 point	連携の内容	介護職 point
<p>情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を踏まえて、身体状態を総合的にアセスメントする。 ・介護職にとって重要な清潔ケアの情報・視点は、介護職に伝える。 <p>【全身状態→清潔ケアのアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔ケアに伴う身体への負荷・留意点（制限）を確認する。→入浴 or シャワー浴 or 清拭の判断 <p>【皮膚の問題（トラブル）のアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の問題（褥瘡・かぶれ・かゆみ…など）の状態のアセスメントをする→入浴 or シャワー浴 or 清拭の判断 <p>【リスクのアセスメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血圧など循環動態の変化→意識レベル低下のリスク ・浴室内での転倒またはベッドからの転落のリスク ・医療機器使用中の場合の機器路トラブルのリスク ・皮膚トラブルがある場合の不適切な処置による悪化 ・湯や蒸しタオルの温度・摩擦によるやけど、発赤のリスクなど。 	<p>【特に連携が必要な利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 皮膚のトラブル（おむつかぶれ・かゆみなど）がある。または皮膚が弱い <input type="checkbox"/> 褥瘡処置・軟膏塗布など、医療処置管理が必要 <input type="checkbox"/> 入浴・清拭により体調変化がある（呼吸・血圧・痛みの変化、終末期など） <input type="checkbox"/> 清潔ケアの受入れが悪い または意思疎通が困難 <input type="checkbox"/> 麻痺・筋力低下などにより複数名での介助が必要 <input type="checkbox"/> 医療機器管理が必要（気管切開・人工呼吸器・人工透析シャント・胃瘻など） <input type="checkbox"/> カテーテル・チューブ類を使用している（膀胱留置カテーテル・経管栄養チューブ・点滴など） <input type="checkbox"/> 入浴中に排泄の心配がある <input type="checkbox"/> 家族の清潔ケア意識や介護力が弱い <input type="checkbox"/> 体格が大きく体位保持が必要 <p>【共有する（観察・確認する）情報・方法】</p> <p>〈基本的な清潔ケアに必要な情報〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入浴・清拭による身体への負担の程度・病状・障害の程度・安静度（呼吸・血圧・脈拍・痛みなど） <input type="checkbox"/> 姿勢保持（立位・座位・側臥位など）の状態（筋力低下・麻痺・関節拘縮・ふらつき） <input type="checkbox"/> 認知機能・精神状態（入浴時の危険の察知、不安や混乱の状況など） <input type="checkbox"/> 皮膚の状態（発赤・かぶれ・かゆみ・褥瘡・滲出液・感染の状況など） <input type="checkbox"/> 皮膚の保護・軟膏など薬剤の使用状況（種類・塗布部位・量） <input type="checkbox"/> 清潔ケアの方法（入浴 or シャワー浴 or 清拭）の選択基準 ※体調（熱・血圧など）による清拭・入浴方法の決定 <input type="checkbox"/> 医療機器装着・カテーテル・チューブ類の使用状況（触らないところと、水分や蒸気がついてはいけないところ…など） <input type="checkbox"/> 居宅で清潔ケアに使用する物品・環境（安全な移動・姿勢保持のための物品や環境） <input type="checkbox"/> 家族の清潔ケア方法・大切にしていること <p>〈潜在するリスク〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 移動時・姿勢保持時の転倒・転落 <input type="checkbox"/> 入浴・清拭による体調変化 <input type="checkbox"/> 浴槽のお湯や蒸しタオルによるやけど <input type="checkbox"/> 浴室の湿度や体位変換による痰の増加・呼吸変化 <input type="checkbox"/> 清拭の摩擦の強さや不適切な体位保持による皮膚のトラブル <input type="checkbox"/> 医療機器・カテーテル類のトラブル（湿度や水滴・移動による抜去・破損など） <p>〈情報を共有する方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入浴・清拭前の体調・手順確認（一緒に行う） <input type="checkbox"/> 清潔ケア・皮膚観察 日誌・チェック表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を踏まえて、利用者に適した入浴・清拭方法や清潔ケア前後の生活支援法を検討する。 ・介護職だけで対応することが難しい利用者については、とくに看護職との役割分担が重要。 ・看護職にとって重要な情報を把握して、看護職に伝える。 <p>・観察項目を確認しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、清潔ケアによって身体に負担がかかったり、状態の変化が予測される可能性を把握しておく。 ・本人が希望しなかったり、協力が得られない場合の入浴・清拭は危険であり、意思を確認することが必要である。 ・清潔ケアの個別の留意点・工夫の検討
<p>計画</p>	<p>【看護計画立案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的清潔ケア状況 <p>清潔ケア動作・方法・手順は、介護職とともに立案し、統一した方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職に観察しておいてほしいこと、すぐに連絡（対応）が必要な情報は、事前に伝えておく。 	<p>【方法・手順】※微調整可能な範囲や計画見直しを随時相談する</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 清拭・入浴前の身体状態の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・体調（熱・血圧など）の確認 ・生活リズムに適した時間帯・安静度や活動範囲の確認 <input type="checkbox"/> 清拭・入浴の希望の確認（拒否や混乱がないこと） <input type="checkbox"/> 皮膚トラブル（褥瘡やかぶれなど）の状況によって、濡らしたり、触れてはいけない部分を確認 <input type="checkbox"/> 身体的な負荷を考慮した入浴または清拭の所要時間（浴槽に入る時間など） <input type="checkbox"/> 清拭・入浴中の姿勢（体位変換）と体位保持の方法 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱方法（関節可動域や医療機器装着の場合の留意点など） <input type="checkbox"/> 環境・物品の準備（清拭の場合） <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の状態に応じた蒸しタオル・湯の温度・石鹸使用の有無（種類） ・陰部洗浄の方法の確認と必要物品の準備 <input type="checkbox"/> 環境・物品の確認（入浴の場合） <ul style="list-style-type: none"> ・脱衣所と浴室の環境（温度・浴槽の湯量・段差・床面のすべり止め・手すりなど） ・脱衣所と浴室の物品・設備（椅子（高さやひじ掛け）・シャワー・石鹸など） <input type="checkbox"/> 清潔ケア終了後の衣類・下着（気温や発汗・皮膚の状況などに適したもの） <input type="checkbox"/> 医療機器装着・カテーテル・チューブ類を使用している場合の取扱い留意点（抜かない・引っ張らない・挟まない・破損しない）・固定方法 など <p>【連絡（共有）が必要な情報の事前取り決め】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 痛みや苦痛の訴えがある場合（痛み・かゆみ・気分不快など） <input type="checkbox"/> 顔色や表情、意識レベルの変化（緊急連絡） <input type="checkbox"/> すぐに連絡・対応が必要な皮膚トラブルの状態（傷・発赤・浸出液・出血など） <input type="checkbox"/> 四肢・体幹など、浮腫や腫れなどの変化に気づいたときの連絡対応 <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 血圧や発熱など全身状態が不安定で清潔ケアにより状態変化のリスクがある人を誰が担当するか <input type="checkbox"/> 医療機器（人工呼吸器・膀胱留置カテーテル・経管栄養など）を使用している人の清潔ケアの役割分担（観察や機器の取扱いなど、どこを看護職が担当するか） <input type="checkbox"/> 清潔ケアの受入れが悪く、姿勢保持や体位調整に注意が必要な人の清潔ケアの役割分担（複数で担当する場合、だれがどこを観察・姿勢保持を担うか） <input type="checkbox"/> 清潔ケア後、皮膚の処置・褥瘡処置が必要な人の役割分担（褥瘡処置＝看護職、処置中の介助） 	<p>【介護計画立案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的清潔ケア状況 <p>清潔ケア動作・方法・手順は、介護職とともに立案し、統一した方法を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療管理が必要な人（人工呼吸器・膀胱留置カテーテル・経管栄養など）の場合は、移動や姿勢保持方法など、注意すべきことを確認しておく。（介護職で観察・対処した方がよいこと、触れたり行っちゃいけないことを確認）
<p>実施</p>	<p>【方法・手順の遵守】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 決められた事前確認を行う <input type="checkbox"/> 決められた環境整備・物品準備を行う <input type="checkbox"/> 決められた清潔ケア方法（移動・姿勢保持・身体の洗浄方法など）を守る <p>【実施中の観察・確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 〈基本的清潔ケア情報〉〈潜在するリスク〉に関する状況を観察・確認する <p>【一緒に実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 2人で行う清潔ケアは、役割分担にしたがって自分が今なにをしているか、何に気をつけているかを伝えながら、声をかけあう <p>【異常や予期せぬトラブルがあった場合の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 清潔ケア前後に気分不快や意識レベルなど全身状態の変化があった場合には、清潔ケアを中止して、事前に決めた連絡方法で情報を共有する（緊急） <input type="checkbox"/> 清潔ケア中に皮膚の異常などの変化に気づいた場合は 事前に決めた連絡方法で情報を共有して対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・異常やトラブル発生時の対応について、医師と事前に相談しておく。必要に応じて医師に連絡する。 	<p>【方法・手順の遵守】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 決められた事前確認を行う <input type="checkbox"/> 決められた環境整備・物品準備を行う <input type="checkbox"/> 決められた清潔ケア方法（移動・姿勢保持・身体の洗浄方法など）を守る <p>【実施中の観察・確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 〈基本的清潔ケア情報〉〈潜在するリスク〉に関する状況を観察・確認する <p>【一緒に実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 2人で行う清潔ケアは、役割分担にしたがって自分が今なにをしているか、何に気をつけているかを伝えながら、声をかけあう <p>【異常や予期せぬトラブルがあった場合の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 清潔ケア前後に気分不快や意識レベルなど全身状態の変化があった場合には、清潔ケアを中止して、事前に決めた連絡方法で情報を共有する（緊急） <input type="checkbox"/> 清潔ケア中に皮膚の異常などの変化に気づいた場合は 事前に決めた連絡方法で情報を共有して対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施中に異常やトラブルが発生（遭遇）した場合は、すぐに医師・看護師に連絡する。
<p>結果・評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ケア方法の変更を介護職に相談する。 ・清潔ケアの情報を踏まえて、今後の清潔ケア方法（入浴 or シャワー浴 or 清拭）や清拭ケア中の留意点などの計画を見直す。 ・新たにトラブル発生のリスクが生じた場合には、改めて介護職に観察してほしいこと、生活支援上の留意点を伝える。 	<p>【記録】</p> <p>〈基本的な清潔ケアに必要な情報〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入浴・清拭による身体への負担の程度・病状・障害の程度・安静度（呼吸・血圧・脈拍・痛みなど） <input type="checkbox"/> 姿勢保持（立位・座位・側臥位など）の状態（筋力低下・麻痺・関節拘縮・ふらつき） <input type="checkbox"/> 認知機能・精神状態（入浴時の危険の察知、不安や混乱の状況など） <input type="checkbox"/> 皮膚の状態（発赤・かぶれ・かゆみ・褥瘡・滲出液・感染の状況 など） <input type="checkbox"/> 清潔ケア中の排泄の有無 <input type="checkbox"/> 皮膚の保護・軟膏など薬剤の使用状況（種類・塗布部位・量） <input type="checkbox"/> 医療機器装着・カテーテル・チューブ類の使用状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてケア方法の変更を看護職に相談する。 ・清潔ケアの情報を踏まえて、次のケアに継続する。 ・自分が介護を担当する時間、もしくは次の介護担当者に起こり得ることを確認・伝える。（例：皮膚のトラブル、身体への負荷・疲れ具合、清潔ケア後の排泄状況…など） ・清潔ケア前後の状況については、すでに看護職は知っているだろうと思いこまず、気になっていることも含めて看護職に伝える。